



AWSのクラウド移行トータル支援プログラム

**“AWS ITトランスフォーメーションパッケージ
2023 ファミリー”**

2021年4月 日本独自のプログラムとして発表

“AWS ITトランスフォーメーションパッケージ (ITXパッケージ)”

2021年発表
資料を再掲



移行計画立案の支援を拡充した包括的プログラム

2022年3月 ITXの強化・拡大版として発表 “AWS ITトランスフォーメーションパッケージ2.0 (ITXパッケージ2.0)”

2022年発表
資料を再掲

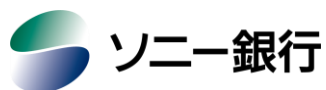


AWSのクラウド移行トータル支援プログラム

**“AWS ITトランスフォーメーションパッケージ
2023 ファミリー”**



AWS ITトランスフォーメーションパッケージご採用のお客様 (一部抜粋)



AWS ITトランスフォーメーションパッケージ2023 全体像

ITXパッケージ 2023 ファミリー

ITX for Cloud First



クラウド移行プロジェクトの
確実・迅速な遂行を支援

ITX for Cloud Native



クラウドならではの技術を
活用した最適化を支援

ITX for MCP Partner



MCP の付加価値を活かした
プログラム群を提供

ITX Lite



中小規模のお客様を
対象とした支援プログラム

これらのうちから**いずれか1つを選択**することも、**複数を活用**することもできます

AWSのクラウド移行支援プログラム “ITトランスフォーメーションパッケージ for Cloud First” (ITX for Cloud First)



ITX for Cloud Firstの位置づけ

ITXパッケージ 2023 ファミリー

ITX for Cloud First



クラウド移行プロジェクトの
確実・迅速な遂行を支援

ITX for Cloud Native



クラウドならではの技術を
活用した最適化を支援

ITX for MCP Partner



MCP の付加価値を活かした
プログラム群を提供

ITX Lite



中小規模のお客様を
対象とした支援プログラム

これらのうちから**いずれか1つを選択**することも、**複数を活用**することもできます

ITトランスフォーメーションパッケージ2023 for Cloud First

AWSへの
移行決定

現行システムの
クラウドへの
移行実現性を評価

クラウド移行を決定し、移行の計画を立案
→推進組織 (CCoE) の立ち上げとメンバーの育成
→パイロットプロジェクトの移行による経験値獲得

移行完了後は
次のステップへ

評価

準備

移行

経済合理性
/ 環境負荷評価
/ クラウド評価
支援

システム資産棚卸と
移行方針立案

移行プロジェクト
計画立案

ビジネス価値の定義

移行プロセスと経験
値向上 (パイロット
移行)

人・組織のスキル
向上とCCoE組成

ランディングゾーン
(全体の基盤設計と
設定)

運用改善

セキュリティとコン
プライアンス対応

詳細計画 設計 構築 テスト・運用

移行ワークショップ

ガイドライン整備

クレジット提供によるコスト削減

クラウド推進 組織・人材支援

インフラ標準化

IT資産の買取

CCoE検討支援

セキュリティ

基幹・重要システムのサポート

CCoE運営支援

運用モデル

継続的なコスト最適化支援

移行方法
検討

クラウド人材 育成支援

Customer Solutions Managerによるクラウド活用支援



ITトランスフォーメーションパッケージ2023 for Cloud First

AWSへの
移行決定

現行システムの
クラウドへの
移行実現性を評価

クラウド移行を決定し、移行の計画を立案
→推進組織 (CCoE) の立ち上げとメンバーの育成
→パイロットプロジェクトの移行による経験値獲得

移行完了後は
次のステップへ

評価

準備

移行

UPDATE

経済合理性
/ 環境負荷評価
/ クラウド評価
支援

移行準備
状況評価

移行方法
検討

従来IT技術とAWSとの
比較評価を通して
クラウド評価を支援

ビジネス価値の定義

移行プロセスと経験
値向上 (パイロット
移行)

人・組織のスキル
向上とCCoE組成

ランディングゾーン
(全体の基盤設計と
設定)

運用改善

セキュリティとコン
プライアンス対応

移行ワークショップ

CCoEメンバーの育成に
加えて全社的なクラウド
人材の育成

コスト最適化手法をハン
ズオンやワークショップ
で提供

詳細計画

設計

構築

テスト・運用

AWSのエキスパートが
お客様のクラウドジャー
ニーを支援

クラウド資産の買収

NEW 基幹・重要システムのサポート

CCoE運営支援

継続的なコスト最適化支援

UPDATE クラウド人材 育成支援

Customer Solutions Managerによるクラウド活用支援



ITトランスフォーメーション パッケージ - 評価フェーズ -



評価フェーズのご支援プログラム

クラウドエコノミクス (CE)

オンプレミス/他クラウドとAWSのTCO (総保有コスト) 比較分析
CO2排出削減量試算
Migration Evaluator インフラ資産把握ツール (無償)



インフラ
コスト
削減
(TCO)

-10~90%

※ボリュームゾーンは40%前後

AWSクラウドエコノミクス支援企業
350社以上からの実績



スタッフの
生産性
向上

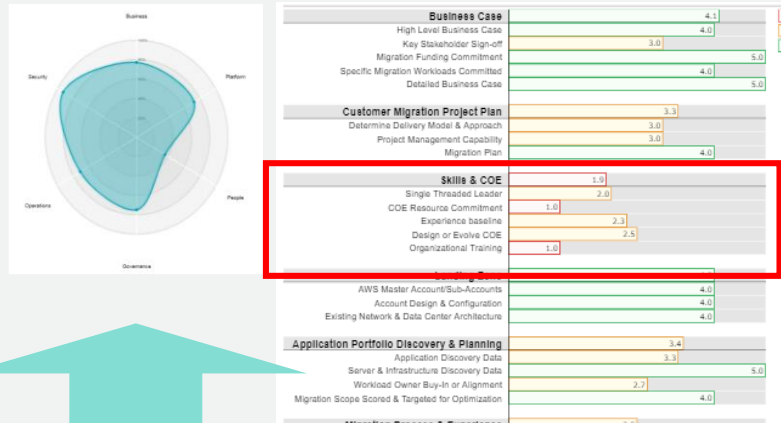
15~40%

生産性の向上]試算支援企業
250社以上からの実績

マイグレーションレディネスアセスメント (MRA)

お客様の現状評価と推奨アクション提案

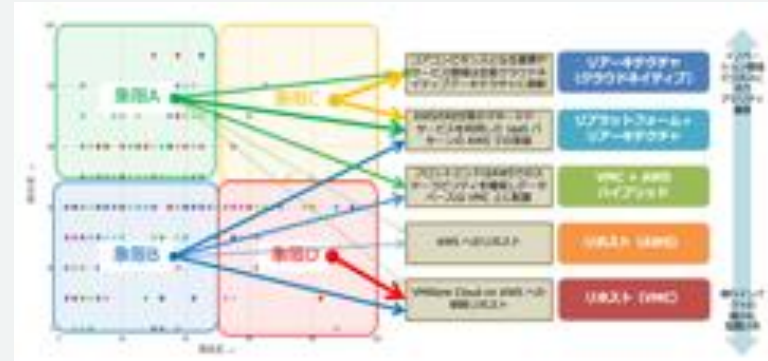
“People”の項目で低スコアが目立つ



Cloud Adoption Frameworkの6つの視点でクラウド導入の準備度合いを現状分析し、今後の推奨アクションを提案

アプリケーションポートフォリオアセスメント (APA)

クラウドへの移行難易度とクラウド適合度から移行パターンをご提示



ITトランスフォーメーションパッケージ - 準備・移行フェーズ - クラウド人材 育成支援

CCoEメンバーの育成に加えて全社的なクラウド人材の育成



クラウド人材育成のステップ

準備 → 移行

ステップ

対象者

目的

ご支援内容

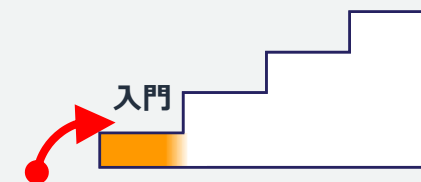
レベル

自己学習・ 事前準備

IT未経験のデジタル
部門/ビジネス部門
要員

ITおよびクラウドの
用語や基本的な考え
方について理解する

貴社主体での自習
書籍や動画閲覧を通じITパス
ポート/基本情報技術者試験に
挑戦

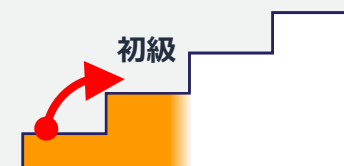


クラウド 基本技術習得

デジタル部門/
ビジネス部門要員

クラウドの基礎的な
スキルを身に付ける

Training & Certification
AWS 認定取得

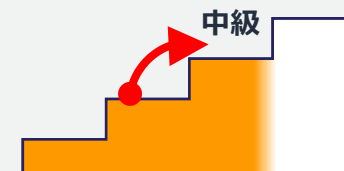


提案ブート キャンプ

システム開発部門/
企画者やプロジェ
クト管理担当者

基礎知識をベースと
して実践的な設計の
スキルや目利き力を
身につける

Professional Services
架空のシステム化要件 (RFP) に
対する設計をワークショップ
形式で検討

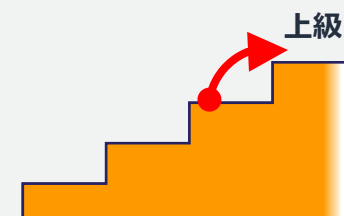


個別テクノロジー ワークショップ

システム開発部門

サーバレスやマイク
ロサービスなどモダ
ンアプリケーション
設計のエッセンスを
理解する

Professional Services
座学・ハンズオン・グループ
ディスカッションを通じた実践
を経験頂く



ITトランスフォーメーションパッケージ - 準備・移行フェーズ -
継続的なコスト最適化支援

AWSご利用費用の最適化



CFMサポート内容

1. お客様の利用の現状とコスト削減余地の分析

お客様のサービス利用状況やどこにコスト最適化の余地があるのか Cost Explorerに基づいた使った分析レポートを作成、報告しお客様のコスト最適化のロードマップをご提案

2. CFM-Experience Based Acceleration CFM-EBAの実施

コスト最適化のためのサービス/ツールのハンズオンやクラウドネイティブアーキテクチャのlearning sessionを開催しお客様のコスト最適化のスキルアップを実現

3. CFM-Capability Assessment(CFM-CA)によるコスト最適化に関する成熟度調査

可視化、最適化、計画予測、FinOpsの4つの領域における44の質問を通じてコスト最適化に関するお客様の体制やプロセスを評価強み/弱みを可視化し今後の注力ポイントを明確化し、成熟度改善につながるベストプラクティスを共有

※各サービスには実施のためのクライテリアがございます

CFM分析 レポート 例

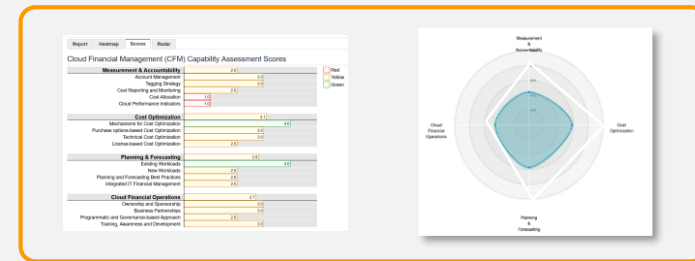


CFM EBAアジェンダ例

第二回 実践編 (2021.12.12)

アジェンダ	担当	時間	詳細
RI/SPの概要、Cost Explorerの概要・ハンズオン	AWS CFM BD	1時間20分	RI/Savings Plans紹介、Cost Explorerでの推奨事項確認方法
S3ライフサイクルポリシー/インスタンスの起動停止スケジュール調整	AWS SA	30分	S3 Lifecycle Policyを使ったストレージクラスの変更、インスタンスの自動的な起動や停止の方法のご紹介
質疑応答/次回のご案内	AWS CFM BD	5分	WSでご紹介したCost Explorerの使い方を活用して実際に検証した課題や検討した施策を発表

CFM-CA レポート例



ITトランスフォーメーションパッケージ - 移行フェーズ -
基幹・重要システムのサポート

お客様のクラウドジャーニーを成功に導くための、AWSのベストプラクティスの実現を支援



エンタープライズ プラン

■ 最短15分以内のエンジニアアサイン

- お問い合わせ起票時の緊急度として“非常事態”をご利用いただけます。最短で15分以内に担当エンジニアをアサインして初回応答いたします。

■ 高品質な窓口対応の提供

- いずれのお問い合わせにおいても、経験豊富なものが対応いたします。

■ TAMによる継続的な改善のご支援

- テクニカルアカウントマネージャー（TAM）が貴社サポート担当エンジニアとしてアサインされます
- TAMは定期的なお問い合わせのレビュー、お客様へのご利用状況のご報告などを通じ、お客様のAWSご利用の最適化や効率的な運用をご支援いたします

■ 重要なイベントの際の特別なご支援体制のご提供

- インフラストラクチャーイベント管理（IEM）を追加料金なしでご利用できます。お客様の重要なイベントを特別体制でご支援します。

	ビジネス	エンタープライズ On-Ramp	エンタープライズ
応答時間 *1	1時間以内	30分以内	15分以内
担当エンジニア	全エンジニア	認定エンジニア	認定エンジニア
カスタマーサービス	通常窓口	コンシェルジュ	コンシェルジュ
テクニカルアカウント管理	—	プールTAM	担当TAM
	—	支援回数の上限定あり	—

*1 応答時間は、お問い合わせいただいてから、エンジニアがアサインされて初回の応答を返すまでの目標時間です。お問い合わせ時にお客様が選択された緊急度に依存します。

*2 具体的な体制、頻度等については個別にご相談させていただきます。

AWSのクラウドネイティブ支援プログラム “ITトランスフォーメーションパッケージ for Cloud Native” (ITX for Cloud Native)



ITX for Cloud Nativeの位置づけ

ITXパッケージ 2023 ファミリー

ITX for Cloud First



クラウド移行プロジェクトの
確実・迅速な遂行を支援

ITX for Cloud Native



クラウドならではの技術を
活用した最適化を支援

ITX for MCP Partner



MCP の付加価値を活かした
プログラム群を提供

ITX Lite

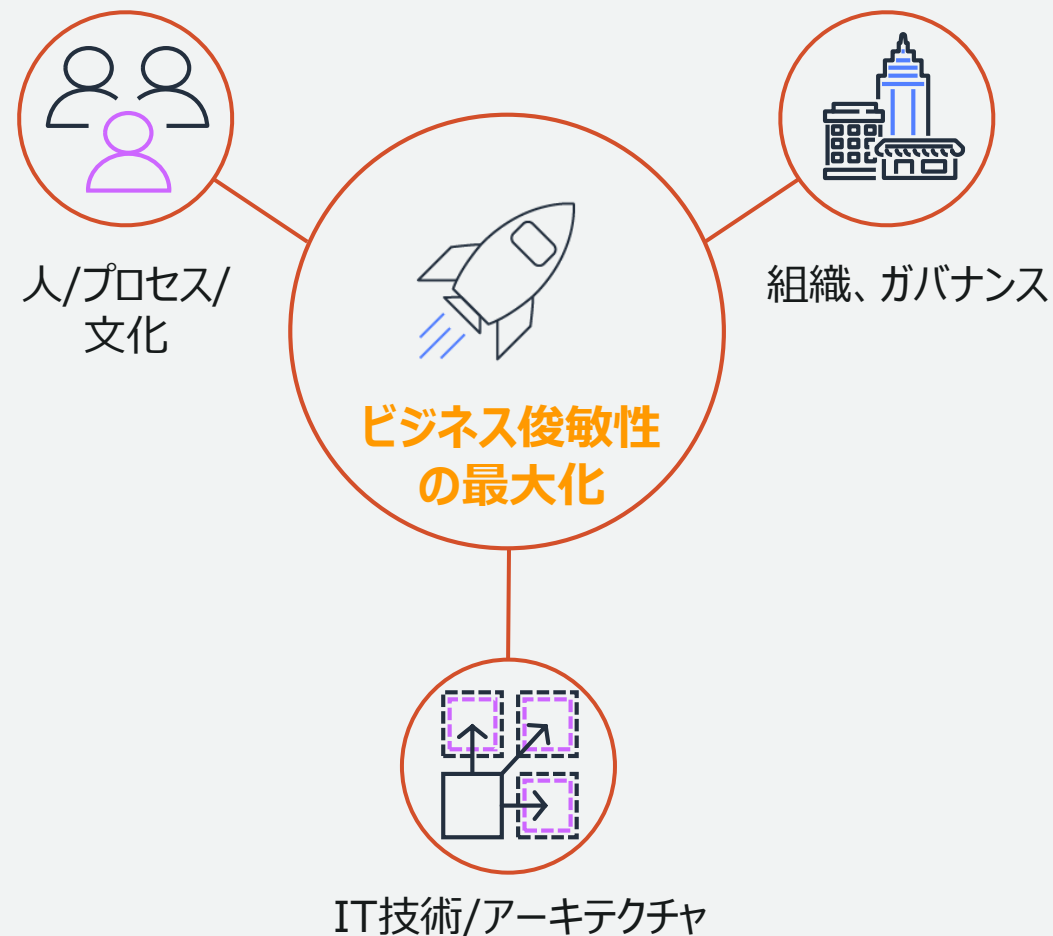


中小規模のお客様を
対象とした支援プログラム

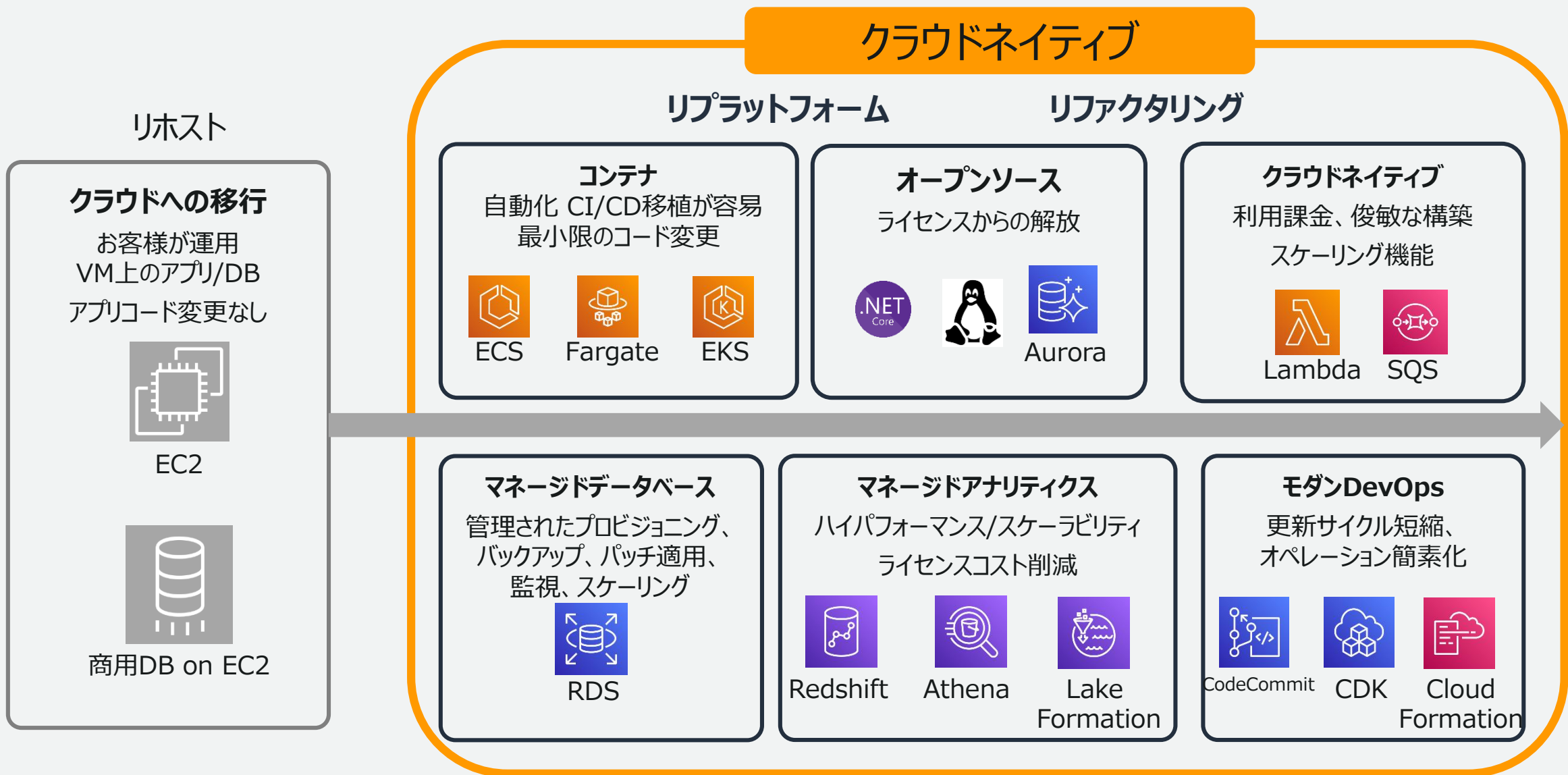
クラウドネイティブとは？

クラウドネイティブ化(モダナイゼーション)とは
既存の組織やシステムを段階的に変革し、

- **ビジネス俊敏性の最大化**
 - **イノベーションの加速**
 - **技術的負債の低減**
- を実現するプロセス



クラウドネイティブ化のパス



クラウドネイティブ化はビジネス価値を加速する



インフラコストの削減

Serverless



ITインフラコストの削減

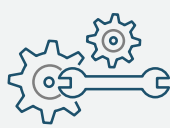


スタッフ生産性の向上

Containers



技術リソース当たりのサーバー管理数の改善



頑強なオペレーション

Managed Data



セキュリティインシデント解決時間の短縮



俊敏なビジネス

Managed Analytics



新機能リリースまでの期間短縮



サステナビリティ

Graviton3 Adoption

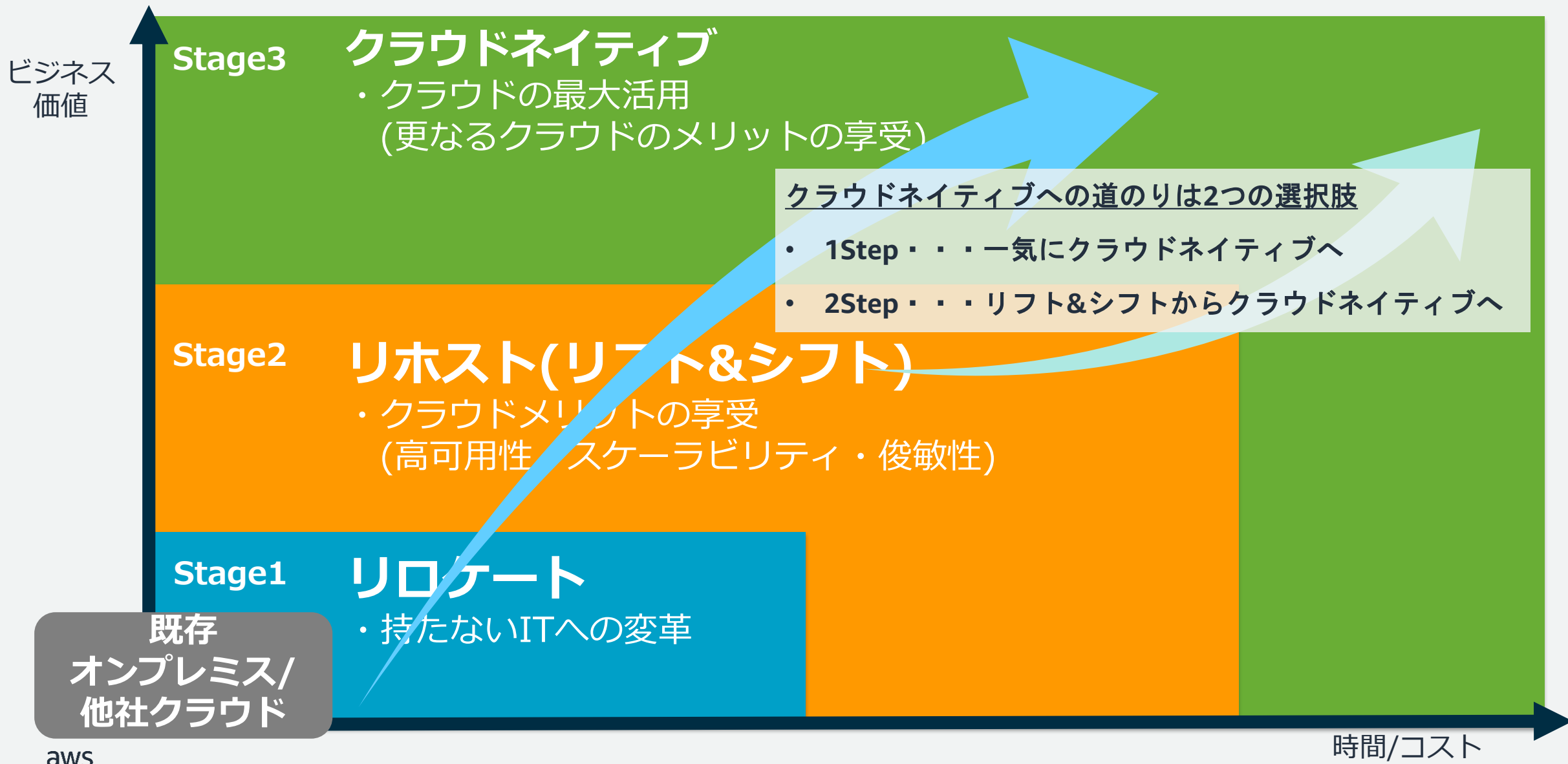


同じ性能での消費電力を削減

クラウド移行（クラウドジャーニー）の道のり



クラウド移行（クラウドジャーニー）の道のり



ITトランスフォーメーションパッケージ2023 for Cloud Native

意思決定

ビジネス価値、
対象業務を定義

クラウドネイティブ
実現可能性を評価

クラウドネイティブプロジェクトの
計画立案および推進

クラウドネイティブ
完了後はさらなる変革へ

検討

評価

準備

移行

モダナイゼーション
戦略策定
(MSW)

アーキテクチャ
検討支援
(MODA)

経済合理性評価
(クラウドエコノミクス)

スキルギャップ
分析
(LNA)

モダナイゼーション
準備評価
(MRA)



移行プロジェクト
計画立案



人・組織のスキル
向上とCCoE組成



移行プロセスと
経験値向上
(パイロット移行)

アプリケーション
開発支援

モダンアプリ
開発支援

プロトタイピング

クラウドネイティブ化
推進支援

モダナイゼーション体験
ワークショップ(EBA)

DB移行支援
(DB Freedom)

アジャイル組織/人材育成

アジャイル導入
ワークショップ

モノリスからマイクロ
サービス移行体験

クラウドネイティブ人材育成トレーニング

コスト最適化

クレジット提供による
一時費用低減
(MAP for Cloud Native)

クレジット提供による
AWS利用料低減(MAP2.0)

継続的なコスト最適化
(CFM-EBA)

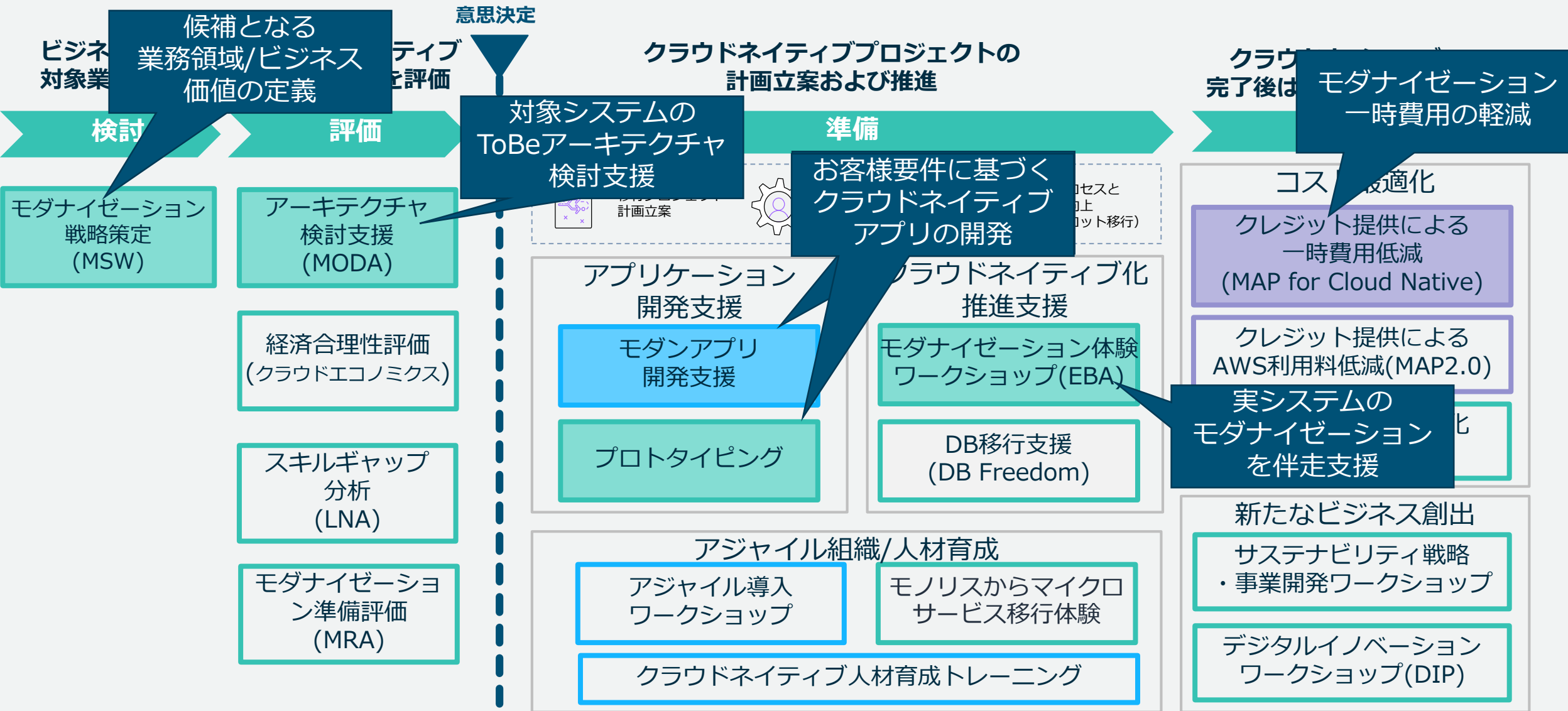
新たなビジネス創出

サステナビリティ戦略
・事業開発ワークショップ

デジタルイノベーション
ワークショップ(DIP)



ITトランスフォーメーションパッケージ2023 for Cloud Native



ITXパッケージ for Cloud Native – 検討フェーズ –

Modernization Strategy Workshop (MSW)

モダナイゼーション候補システムの選定とビジネス価値定義



Modernization Strategy Workshop(MSW)とは

どのようなお客様向け？

- これからモダナイゼーションを検討/検討中のお客様
- スピード感を落とさずにクイックにモダナイゼーションの**中長期戦略の道筋をつけたい**お客様

どのようなシステムを対象？

- 企業全体を対象とするが、**AWSにリホスト済みのオープン系**（Linux/Windows）システムもしくは、現状**オンプレだがモダナイゼーションを含む移行を検討**を視野にいたした大規模システム
※現状オンプレの場合には、ETWもしくはAPAを事前に実施

どのような課題に対応するもの？

- ビジネス戦略とIT戦略や課題の紐付けを行い、モダナイゼーションの**動機づけ**を明確にしたい
- 企業システム全体を俯瞰した上で、モダナイゼーションに適するシステム群の**候補を抽出**したい

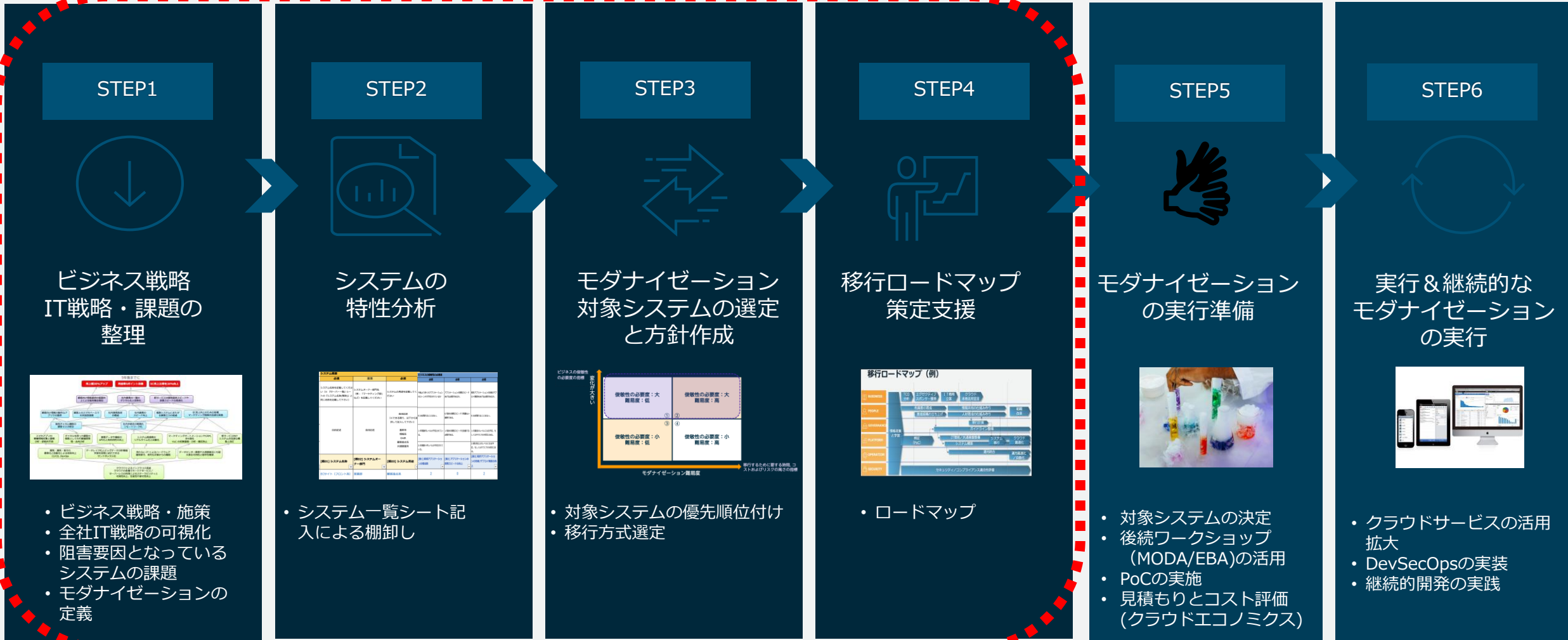


• MSWのアウトプットは、検討フェーズにおける方向性を議論するための粒度で作成するため、**個別システムの詳細な移行計画**（移行後アーキテクチャ、移行方法など）の粒度**ではありません**。**対象システム選定後に、後続のワークショップであるModernization Assessment (MODA) をご検討ください**

• **組織や開発スタイル改革の具体的な内容には踏み込みませんので、必要に応じて適切なサービスをご紹介します。**

Modernization Strategy Workshop(MSW)の進め方

約2ヶ月



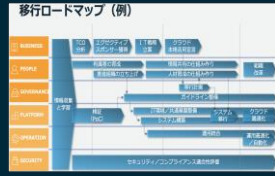
- ビジネス戦略・施策
- 全社IT戦略の可視化
- 阻害要因となっているシステムの課題
- モダナイゼーションの定義

システム名	用途	重要度	モダナイゼーションの必要性	移行方式
システムA	業務管理	高	大	クラウド移行
システムB	顧客管理	中	中	クラウド移行
システムC	財務管理	高	大	クラウド移行
システムD	人事管理	中	中	クラウド移行
システムE	生産管理	高	大	クラウド移行

- システム一覧シート記入による棚卸し

モダナイゼーション難易度	必要性の必要度：大 難易度：低	必要性の必要度：大 難易度：高
高	①	②
低	③	④

- 対象システムの優先順位付け
- 移行方式選定



- ロードマップ



- 対象システムの決定
- 後続ワークショップ (MODA/EBA)の活用
- PoCの実施
- 見積もりとコスト評価 (クラウドエコノミクス)



- クラウドサービスの活用拡大
- DevSecOpsの実装
- 継続的開発の実践

ITXパッケージ for Cloud Native – 評価フェーズ –

モダナイゼーションアセスメント (MODA)

特定業務システムのアーキテクチャ検討支援



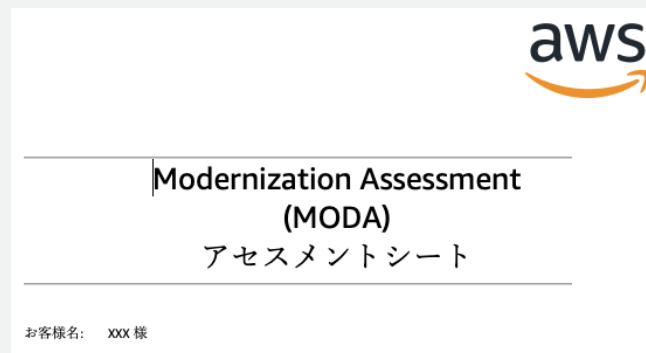
Modernization Assessment(MODA)とは？

■ MODAとは

お客様がシステムのモダナイゼーションを加速させるために、AWS の専門チームがお客様の特定業務システムを様々な観点から評価・分析し、**モダナイゼーションのポイント**や**To-Beアーキテクチャ案**を提示します。

■ 期待効果

To-Beアーキテクチャ検討を通して、**モダナイゼーション計画のインプット**を獲得できます。



ヒアリングシート



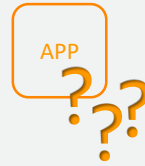
MODA報告書

分析方法 - MODAヒアリング項目概要



ビジネスの質問

- モダナイゼーションのビジネス推進力
- システムの影響を受けるユーザー
- 顧客の課題またはオポチュニティ
- ビジネスの成功基準
- 考えられるブロッカー



アプリケーションの質問

- アプリケーション構成要素（言語、フレームワーク、OS、ツールなど）
- アーキテクチャ概要（ソフトウェア・インフラ）
- システム間連携
- データベース
- 性能
- 可用性
- セキュリティ



DevOpsの質問

- テスト実施状況
- CI/CD/DevOps取り組み状況
- システム運用プロセス
- 変更管理プロセス
- 各種管理ツールの利用状況

モダナイゼーションのポイントを見極めるための
様々な観点からヒアリング

ITXパッケージ for Cloud Native – 評価フェーズ –

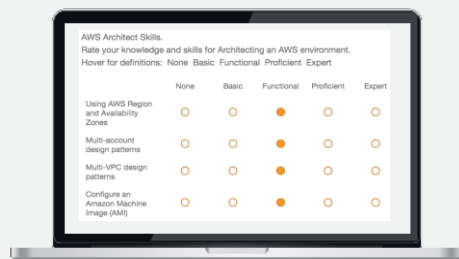
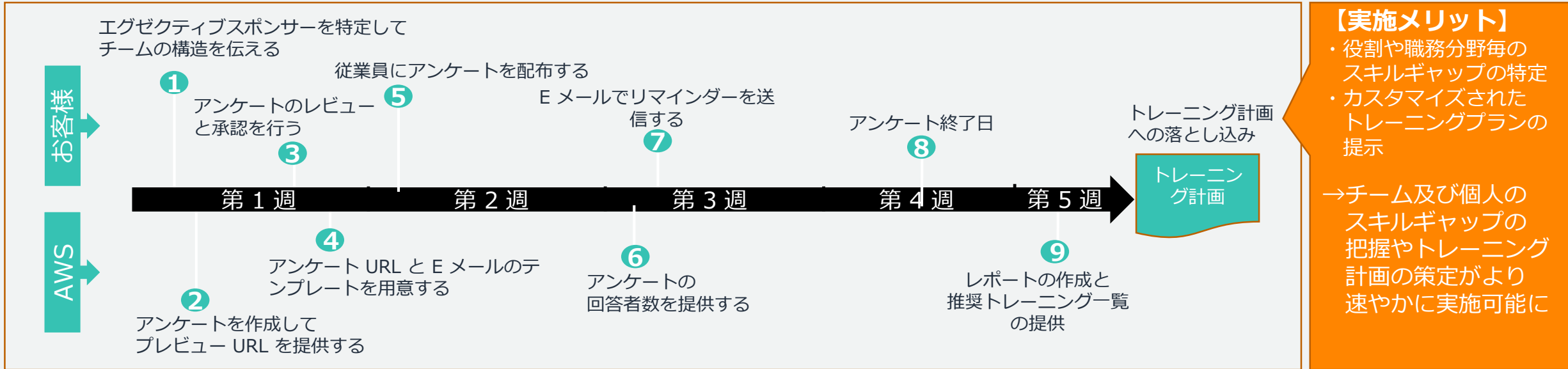
Learning Needs Analysis (LNA)

エンジニアのスキル分析と推奨トレーニングプランの提示



Learning Needs Analysis(LNA)とは

AWSに携わる要員の**スキルギャップ**を迅速かつ効率的に**特定**し、ギャップ**解消**をご支援する為のプログラムです。
LNAの活用により、役割や職務分野におけるスキルギャップの特定と、カスタマイズされたトレーニングプランの提示が行える為、チーム及び個人のスキルギャップの把握やトレーニング計画の策定を速やかに行うことが可能となります。



スキル評価アンケート



役割毎のスキルのヒートマップ



評価結果の分析

各個人への推奨コース一覧



(個人向けの推奨トレーニング一覧提供 (オプション))

ITXパッケージ for Cloud Native – 準備フェーズ – プロトタイピング

クラウドネイティブで実現したいシステムのプロトタイプ開発



プロトタイピング プログラムとは

AWSで実現したいシステムのプロトタイプをAWSが開発

AWSのプロトタイピングエンジニアがお客様の課題に合わせてカスタムのプロトタイプを作成してASLライセンス*の下で提供します。

お客様固有のビジネスロジックも含んだプロトタイプの作成が可能です。

提供したプロトタイプのお客様環境での動作確認を支援

お客様はプロトタイプを用いて実現性を検証したり、本番に向けた開発の参考にすることが可能です。

クラウドネイティブ技術にも対応

IoT



Blockchain



AI/ML



AR/VR



ITXパッケージ for Cloud Native – 準備フェーズ –

モダンアプリケーション開発支援

お客様要件に合わせたクラウドネイティブ
アプリケーション開発を支援



モダンアプリケーション開発支援 概要

対象となる顧客像／抱えている課題

サーバーレスやマネージドサービスなどを用いて、より柔軟性、拡張性、保守性を担保したサービスやアプリケーションの設計、開発、運用を行いたいお客様

提供する価値／効果

サーバーレスやマネージドサービスなどを用いたアーキテクティング、技術検証、モブプログラミングを通じて、お客様の要件に合わせた実案件ベースでのアプリケーション開発を支援します

概要

サーバーレスやマネージドサービスなどを用いたアプリケーション開発の技術支援を行います

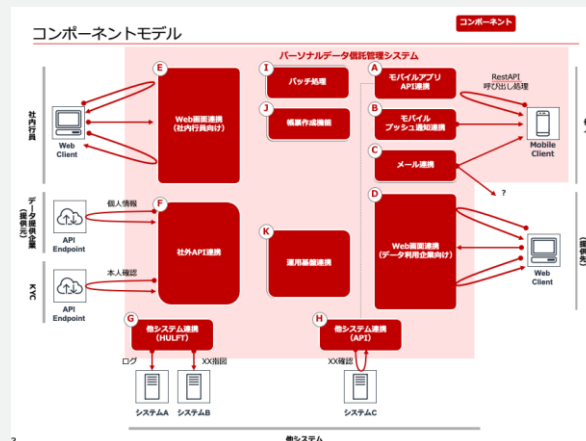
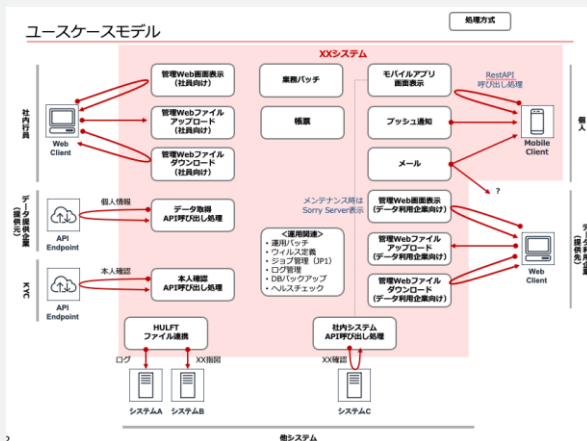
- システム要件整理、アーキテクティング
- 各種ガイドライン（設計・開発・運用）
- 技術検証・モブプログラミング・プロトタイプ など

想定期間

3ヶ月～

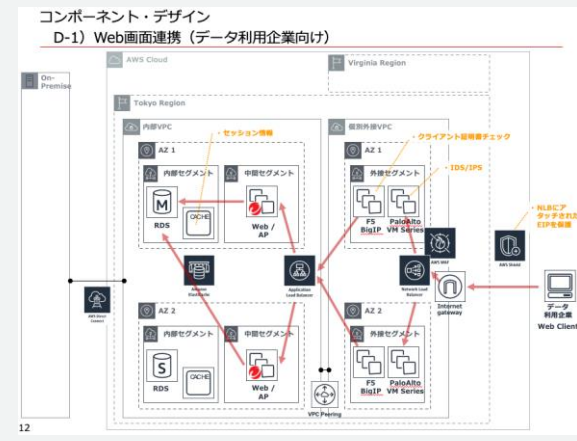
費用

有償



(参考) Webアプリ方式

	従来方式	SPA方式 (Single Page Application)
イメージ	①アクション ブラウザ ②HTTPリクエスト ③HTML生成 ④HTML返却 サーバーアプリ	①アクション ブラウザ HTML (1つ) JS ②APIリクエスト ③データ (JSONなど) サーバーアプリ
特徴	サーバーアプリから返却されたHTMLを描画し、複数Webページを選択する	サーバーアプリから必要に応じてデータを取得し、JSで描画を差分更新。(基本、1つのWebページ)
機能性	画面更新のためにHTMLを取得し描画するためレスポンスが比較的悪い	最小限のデータ転送であり、描画も差分更新のためレスポンスが比較的良い ネイティブアプリに近い、リッチなWeb表現が可能であり、高いユーザーエクスペリエンスを提供できる
開発負荷	低	高
その他	特になし	比較的开发者が少ない フロントとバックエンドを厳密に分けられるためユーザーエクスペリエンスが求められる領域にフィット バックエンドをAPI提供のみに統一できる。(Webの場合はSPA方式、モバイルの場合はネイティブアプリ)



支援内容一覧

準備

※ 案件の特性やお客様の要望に応じて以下のようなご支援をカスタマイズして提供いたします
 ※ 利用するテクノロジー、開発言語などによって支援可否は要調整となります

フェーズ	カテゴリ	支援内容	提供価値	主な作成物	
概要設計 基本設計	アーキテク ティング	システム要件整理支援	機能・非機能要件を整理支援 ユースケースモデリング等を通し機能コン ポーネント等作成を支援	機能要件一覧をもとに、システムに搭載す べき機能コンポーネントモデルを作成でき ます	<ul style="list-style-type: none"> 機能一覧 ユースケースモデル コンポーネントモデル
		アーキテクティング支援	各機能コンポーネント毎のアーキテクティ ングを行い、非機能要件とも合わせて設計 方針や運用方針などの策定を支援	お客様要件を実現するAWSサービス選定、 及びシステム全体のアーキテクティングが 行えます	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネントデザイン (アーキテクチャ図) 設計方針書
	技術検証	PoC支援	ビジネス・サービスで実現したいことが技 術的に実現可能であるか検証支援	技術的に実現可能であるかどうかを実際の 開発作業に入る前に検証できます	<ul style="list-style-type: none"> PoC結果報告書 環境・コード・手順書
	開発方針	ブランチ戦略策定支援	コードのバージョン管理におけるブランチ 作成ルートやマージルールの策定を支援	バージョンングや開発ワークフローを明確 化しコードをきれいに保つことができます	<ul style="list-style-type: none"> バージョン管理方針書
		CI/CDパイプライン 設計・構築支援	ビジネス・サービスに合ったCI/CDパイプ ラインの設計や構築を支援	CI/CD環境が整備され高速なソフトウェア ライフサイクルを実現できます	<ul style="list-style-type: none"> CI/CDパイプライン設計書 CI/CD環境
		Infrastructure as Code 導入支援	CloudFormationなどを利用しインフラの 構築をソースコードで管理できるよう支援	インフラ構築を自動化する事でインフラに おいても車輪の再構築を防ぐ事ができます	<ul style="list-style-type: none"> ソースコード 自動化環境
開発	コーディング	モブプログラミング支援	お客様の開発チーム内でのモブプログラミ ングの進行を支援	モブプログラミングを通し開発を円滑に進 めることができ、チーム内のプログラミン グ技術の向上や、開発手法を習得できます	<ul style="list-style-type: none"> ソースコード
	プロトタイプ	プロトタイプ支援	特定機能のプロトタイプ（サンプルコー ド）の作成支援	サンプルコードをベースに開発することで、 円滑に開発を進めることができます	<ul style="list-style-type: none"> サンプルコード・手順書 実行環境



ITXパッケージ for Cloud Native – 準備フェーズ –

Experience-Based Acceleration (EBA)

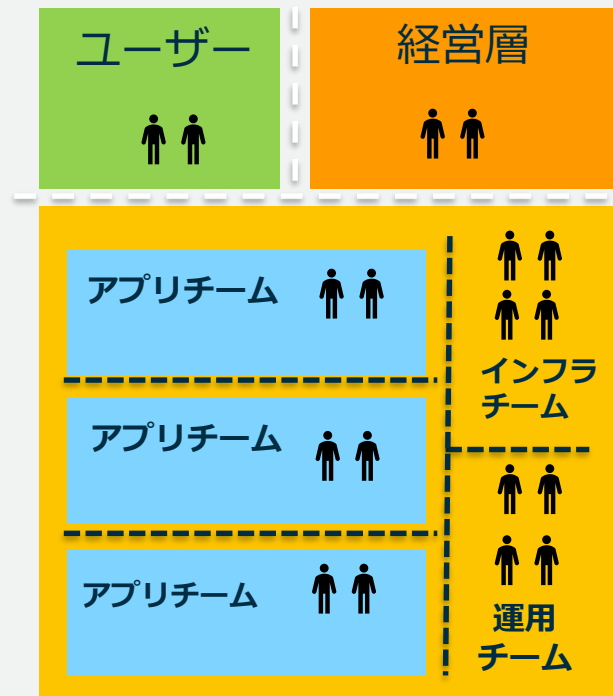
クラウドネイティブ化の実体験を通じて
アジャイルな組織・働き方を習得する伴走支援型プログラム



Experience-Based Acceleration(EBA)とは

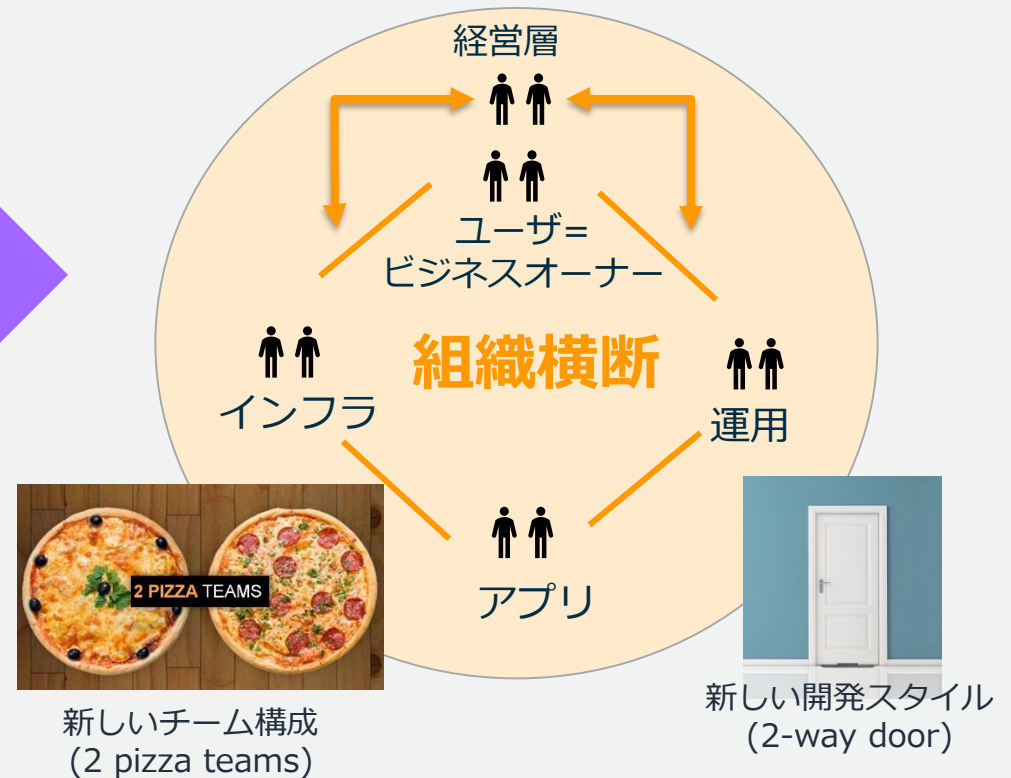
お客様自身によるシステムのモダナイゼーションを約1ヶ月短期集中支援
新しいチーム構成 (2 pizza teams) ・ 開発スタイル (2-way door)
を取り入れチームのアジリティ向上を実現

縦割り組織



組織間調整に時間がかかる

アジャイルな組織



ITXパッケージ for Cloud Native – 移行フェーズ –

MAP for Cloud Native

クラウドネイティブ化の一時費用をサポートする
ファンディングプログラム



MCPの付加価値を活かした支援プログラム “ITトランスフォーメーションパッケージ for MCP Partner” (ITX for MCP Partner)



ITX for MCP Partnerの位置づけ

ITXパッケージ 2023 ファミリー

ITX for Cloud First



クラウド移行プロジェクトの
確実・迅速な遂行を支援

ITX for Cloud Native



クラウドならではの技術を
活用した最適化を支援

ITX for MCP Partner



MCP の付加価値を活かした
プログラム群を提供

ITX Lite



中小規模のお客様を
対象とした支援プログラム

これらのうちからいずれか1つを選択することも、複数を活用することもできます

AWS ITトランスフォーメーションパッケージ for MCP partner

Migration Competency Partner保有のAPNパートナーとAWSによる
移行/モダナイゼーションの統合オファリング (以下はSCSK様の場合)

SCSK様提供ソリューション

AWS提供ソリューション

クラウド移行決定



評価



準備



移行

クラウド移行フルサポート
現状調査/TCO評価/移行グルーピング/移行計画・設計/環境構築/パイロット移行/本番移行

クラウドデータベース
マイグレーションアセスメント

クラウドデータベース
マイグレーションサービス

クラウドエコノミクス
(TCO 評価/CO2 排出削減量試算)

クラウドCoE
立ち上げ支援

クラウドリファレンス
キット for AWS
インフラ標準化/セキュリティ/運用モデル

短期リフトパック
構築/テスト運用

マイグレーションレディネスアセ
スメント (MRA)

AWS Migration Acceleration Program for
Partner

AWS IT Divest による
IT 機器買い取り

アプリケーションポートフォリオ
アセスメント (APA)



中小規模クラウド移行トータル支援プログラム “ITトランスフォーメーションパッケージライト” (ITX Lite)



ITX Liteの位置づけ

ITXパッケージ 2023 ファミリー

ITX for Cloud First



クラウド移行プロジェクトの
確実・迅速な遂行を支援

ITX for Cloud Native



クラウドならではの技術を
活用した最適化を支援

ITX for MCP Partner



MCP の付加価値を活かした
プログラム群を提供

ITX Lite



中小規模のお客様を
対象とした支援プログラム

これらのうちからいずれか1つを選択することも、複数を活用することもできます

AWS ITトランスフォーメーションパッケージライト (略称: ITX Lite)

無償プログラム

中小規模移行案件向け

クレジットプログラム

クラウドの
もたらす
価値創造への
集中を
経営層と体験

お客様の負担を軽減しつつ
移行開始までを手厚く支援

現行システムの
クラウドへの移行実現性を評価

評価

経済合理性/
環境負荷評価



移行準備状況評価



移行方法検討



AWSへの移行決定

中小規模で単発の移行、お客様自身で移行する前提

クラウド移行を決定し、移行人材育成、移行の計画を立案

準備

移行

移行人材育成

状況評価に
合わせた
スキル
トレーニング*

移行検討支援

移行計画
レビュー/
アーキテクチャー
レビュー

MAP Lite
利用料の一定割合を
クレジットで還元

コスト最適化支援

IT資産の買取

お客様自身での移行が難しい場合はAWSパートナーをご紹介します

* 移行の現状評価によっては有償トレーニングをご紹介します場合があります。



中小規模のクラウド移行に対する課題

評価フェーズ

実際にどれくらいの経済価値、コスト削減効果があるのか？
移行はしたいと思っているが何から始めていいのか分からない
人員が少ないので詳細調査や打ち合わせが負担になる
意思決定が進まない

クラウド移行決定

準備 & 移行フェーズ

推進組織をたてるほど人員がない
移行経験の不足
移行にかかるコストが心配

ITX Liteによるご支援での解決アプローチ

評価フェーズ

お客様の負担を軽減しつつ、移行開始までを手厚く支援
移行がもたらす経済価値を簡易診断「クラウドエコノミクスライト」
移行する前の現状分析「クラウドレディネスアセスメント」
移行するにあたっての技術面の課題の洗い出し
「アプリケーション・ポートフォリオ・アセスメントライト」

クラウド移行決定

準備 & 移行フェーズ

移行人材の技術支援を行う「状況評価に合わせたスキルトレーニング」
移行プロジェクトの円滑な実施を支援
「移行計画レビュー/アーキテクチャーレビュー」
コストの一定割合をクレジットで還元「MAP Lite」
クラウド移行後の「コスト最適化支援」

お問い合わせ

AWS ITトランスフォーメーションパッケージ2023 ファミリー (ITX 2023) の詳細については、下記よりお問い合わせください。

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/>

関連情報

AWSへの移行

AWSに効率的に移行しビジネスの成果を迅速に実現できる、包括的なソリューション

<https://aws.amazon.com/jp/cloud-migration/>

